

## 一般質問通告書要旨

清新クラブ 5 番議員 高阪康彦

### (2 問目) 学校における社会教育としつけ

私の質問は三つです。

一つめの質問に入ります。

しつけは、本来各家庭が行うものだと思います。しかし、昔と違って今は、親が子供と一緒に過ごす時間が少なくなっています。子供は塾や習い事などで忙しく、両親が働いている家庭もあります。親は、子供と一緒に生活する中で、悪い所を見つければ注意をして、解らせることが出来ます。一緒に生活していても、悪い所がなければ注意はしません。何もしていない子供を叱る事は出来ません。このような状況から、親としては、しつけをする機会が少なく、行き届かないと云う事も多いと思います。学校は子供が長時間過ごし、団体行動をする場所ですので、社会教育と云う点では、学校の果たす役割は大きいと思います。

先ず、私がこの質問に至ったきっかけですが、私は、本町地区の北之町という町内で子供達に祭礼の笛を教えています。毎年教えているのですが、教え初めて、かれこれ 20 年以上になります。本町の祭りは、各町内会が屋形を飾り付け、余興として、笛、太鼓を氏神の神明社に奉納します。昔は道踊りと言って踊りを出していました。北之町は道踊りも出しています。2 回程、中日新聞に載り上げて戴きましたので、御存じの方も多いたと思いますが、その踊りの囃子として笛、太鼓の練習をするわけです。笛は篠笛（竹の横笛）で、吹いてすぐ音が出るわけではありません。大人でも、なかなか難しいと思います。又、この時期に運動会が重なりますので、運動会が終わった後の 1 週間位で仕上げなければならないので、子供達に、一生懸命教えるのですが、これが大変です。

(笛を教えている時の子供の態度をのべる)

前向きでない。やる気がない。大人を大人と思わない。すぐに徒党を組む。

叱られても効果がない。すぐ休憩を要求する。群れて遊ぶ。

以前に、何かのきっかけで、学級崩壊と云う記事を読んだ事がありました。状況が、やや似てるかなあと思いました。学級崩壊と言うのは、学級で授業が行われているにも関わらず、児童生徒が、勝手に席を立てて教室を出たり入ったりし、私語を慎まなかったり、周りの生徒にちょっかいを出すなど、授業の不成立、ひいては学級の機能が停止した状態が起こることです。この状態を「学級崩壊」と云います。学級崩壊という言葉は主に小学校において使われ、「児童の集団による教師いじめ」という側面も有している。こんなような記事でした。

話を元に戻しますが、こう言った場合、現場の教師だったら、どのような教え方を、されるのかなあと思う訳です。

そこでお伺いします。

学校教育の中で、社会教育、社会礼儀などを教える教育課程はあるのか。又、実際の現場はどのようにして対処して見えるのか。お尋ねをします。

現在の教育システムは「保護者が学校に協力的で、子供も教師の言うことを素直に聞く」という伝統的な学校文化を前提としている。

二つ目の質問にはいります。

先ほど、申しあげましたが、お祭りには子供会さんの協力が不可欠です。その子供会の組織率が減少しています。組織率としては、70%位とも聞きましたが、その主な理由は、子供が稽古事や趣味などで暇がないと、云うことであります。そこで、この事に関しての学校の所感を、お伺いします。又、昔は学校と子供会は連絡があったと思いますが、現在、通学団などは別の組織だと聞きました。現在、学校としての子供会の関わりはあるのか、ないのか、お伺いをします。

三つ目の質問を致します。

やはり、子供のしつけは家庭、親御さん田と思います。先日平成21年度蟹江町教育委員会点検・評価報告書が出されました。その最終ページで学識経験者の意見があります。生涯学習課の事業について、の部分で少し、朗読をします。

(朗読する)

この最後の部分、家庭教育に関する講座を多く設けて強力に参加を呼びかけていく方策が必要と思う。とありますが、どのような方策を考えておられるのか。お伺いをします。